

# 令和7年度 第2回 わかばこども園 関係者評価委員会 議事録

## 1. 開催日時・場所

- 日時:2026年2月28日(土) 10:00~11:10
- 場所:わかばこども園 研修室

## 2. 出席者構成

- 関係者評価委員:**  
河田(駅家北小学校長)、井本(鏡福社会評議員)、細川(第三者委員)、片山(保護者会長)、田村(保護者会副会長) 欠席:佐藤(法成寺町内会長)
- 園側出席者:**  
小林理事長、松葉園長、小林事務、戸田0歳・在宅主幹、芹田1・2歳主幹、東3歳主幹、平川4・5歳主幹

## 3. 議事の詳細

### ① 園の経営概況および教育保育の実施報告

- 園児数推移**  
令和7年度は53名の新入園児を迎え、294名でスタート。年度途中で8名の入園があり現在は310名。3月にさらに2名の入園が確定しており、最終的に312名(定員充足率100%超)で年度を終える見込み。
- 教育プログラムの総括**  
茶道、英会話、リトミック、鼓笛等の専門講師による活動を計画通り完遂。次年度は「鼓笛(10/3)」「運動会(10/31)」「発表会(1/31)」へ評価委員を正式に招待し、直接子どもの姿を確認いただく機会を設ける。
- 人材育成の高度化**  
12月に子ども保育環境研究所の畠山氏を招聘し、幹部職員を対象に「組織力を高め、次世代へ園をつなぐ」をテーマとした研修を実施。日米の保育観の比較や英語教育の再定義など、質の高い議論を行った。5月には全職員対象の「自己分析調査」に基づくフォローアップ研修を予定。
- 採用戦略**  
ボランティア・アルバイト等の学生2名、および卒園生の学生1名の計3名の採用を内定。早期の現場研修を開始し、4月からのスムーズな体制構築を図る。

### ② 自己評価・保護者アンケート結果の精査

- アンケート推移**  
3年間の経年比較で「よくできている(A)」が大幅に向上。「丁寧な声掛け」や「特色ある体験活動」への満足度が特に高い。

- **改善要望の抽出**  
お迎え時の情報共有不足、行事回数の負担感、卒園式の服装指定、上着の置き場所確保など。
- **具体的改善策**  
保護者の意見を受け、参観日の回数を次年度より一部精選することを検討中。

### ③ アンケート結果のフィードバックと保護者会連携

- **フィードバックの重要性**  
「アンケートを取りっぱなしにすることは、信頼関係を損なう最大のリスク。園の考え(できること・できない理由)を誠実にフィードバックすべき」との強い提言がなされた。
- **保護者会からの意向**  
「アンケートで出た具体的な要望に対し、園の方針を知ることによって納得できる保護者は多い。自分たちの意見がどう扱われたか、返答の場を設けてほしい」との要望があった。
- **役員会での直接対話**  
次週開催の「保護者会役員会」に、アンケートの主要項目に対する園の回答や考え方を直接提示することを決定した。
- **「役員会だより」による周知**  
役員会で協議・確認した内容を\*\*「役員会だより」として発行し、役員を通じて全保護者に園のビジョンや回答を共有したい\*\*との申し出があり、園側もこれを全面支持。保護者会が主体となって情報を広報する体制を構築する。
- **卒園式の開催形態に関する検討**  
クラス毎開催に対し、学年全体の一体感や他クラスとの別れを惜しむ声があることを共有。感染症対策と会場収容の制約を踏まえつつ、納得感のある説明を尽くす。

### ④ 現場主幹報告と「こども誰でも通園制度」の実施状況

- **発達段階別の状況**  
0～1歳児の入眠・食事支援、2～3歳児の進級を見据えた自立支援、4～5歳児の小学校接続(11校への入学)を意識した自信醸成を報告。
- **こども誰でも通園制度(誰通)の要約**
  - 福山市内でも先行して実施し、利用が非常に浸透している。
  - 主な利用層は在宅育児世帯であり、保護者のリフレッシュや孤立防止、集団生活の第一歩として重要な役割を担っている。
  - 単なる預かりだけでなく、園の教育方針を知るきっかけや、一時保育へのスムーズな移行に繋がるなど、地域の子育て支援の「玄関口」としての機能が強化されている。

### ⑤ 財務基盤・ガバナンスおよび設備投資

- **設備投資**

東側スロープ・床面のウレタン劣化修繕(約 2,000 万円)を完了。次年度は要望の多かった「良質な砂場の新設」を予算化。

- **ガバナンスと事務効率化**

- 議事録自動化や ICT ツールの積極活用を継続し、創出した時間を保育の質向上へ充当する。
- 1 月の法人監査の指摘に基づき、ガバナンスの透明性を高めるため、3 月末をもって細川委員が「第三者委員」を退任し、新体制へ移行することを決定。

#### **4. 次回開催日程**

- **令和 8 年 7 月 4 日(土)10:00～ 予定**